

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ikikata		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 12月 14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 30
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な視点から支援を考えている。	専門職員を配置し、スタッフ間での検討会を行っている。	事業所内での研修を積極的に行い、資質の向上に努める。
2	保育園・幼稚園から、特別支援学校・中学校のお子さんまで、幅広く支援を行っている。	訪問先に合わせて、担当する訪問支援員の配置を調整している。	ライフステージに合わせた支援を提供できるよう、訪問先でのニーズ、全体の傾向などを蓄積していく。
3	児童発達支援・放課後等デイサービスでの様子や状況を踏まえて、訪問先の先生方と支援方法を共有することができる。	事前に児童発達支援・放課後等デイサービスでの様子をまとめ、先生方にお伝えさせていただいている。	環境の違いや関わり方について比較しながら、よりよい支援方法をスタッフ、先生方と話し合っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方がご希望される時期に、訪問できないことがある。	園や学校間で行事が重なることが多く、訪問先との日程調整が難しい。	ご希望が集中しやすい時期を把握し、その時期については、訪問先との調整を早期から行う。
2	訪問時間が限られているため、午後からの訪問を行うことができない。	通所のご利用時間があるため。	限られた時間であっても、十分なサービスをご提供できるよう、観察できない時間帯の様子については、先生方に聴取することを中心に支援していく。
3			